

部会長挨拶

平田雄志
(大阪大学)

粒子・流体プロセス部会の活動

流体と粒子が単独または混在する系は、化学工学の分野のほとんど全ての生産活動に関与しています。このような複雑多岐にわたる系の取り扱い技術の高度化には、基礎研究から最先端の応用研究を網羅した学際的研究活動、得られた研究成果を技術として生産活動に還元、さらにそこから新たな技術開発課題の抽出、そして学問の深化と発展を目指すサイクルを回さなければなりません。これまで化学工学の分野では、移動現象を基礎として、混相流としての取り扱い技術、粉体工学分野の手法、個々の化学装置における設計手法の開発など積極的な取り組みが行われてきました。広範囲の分野にわたる粒子と流体の取り扱い技術とそれを支える化学工学のスパイラルアップを目指して、社団法人化学工学会粒子・流体プロセス部会は平成14年4月に発足致しました。本部会には、熱物質流体分科会、ミキシング技術分科会、流動層分科会、粉体プロセス分科会、気泡塔分科会が所属し、最新の研究成果・技術動向の情報交換ならびに研究者・技術者の交流の場として、シンポジウム、セミナー、講習会、研究討論会、見学会などの各種活動を部会や分科会が主催して活発に行っております。ご関心のある方々は是非とも私共の部会に参加下さいますようお願い致します。